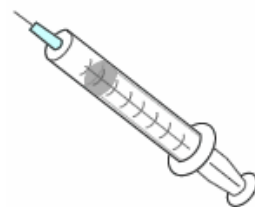


# 肺炎球菌ワクチン

－ 接種をご希望される方へ －

次のような方に接種をおすすめします。

- 高齢者：とくに65歳以上の方
- 心臓や呼吸器に慢性疾患のある方
- 腎不全や肝機能障害のある方
- 糖尿病の方
- 脾臓摘出後の方 など



## 肺炎球菌とは？

- ◆ 高齢者の肺炎で最も多い原因菌です(30%～50%を占めます)。
- ◆ 肺炎球菌による感染症は重症化しやすく、近年、抗生物質が効かない肺炎球菌が増えているため、予防のためのワクチン接種が推奨されています。

## 肺炎球菌ワクチンとは？

- ◆ 肺炎球菌によって引き起こされる感染症の80%程度を予防することが可能です。
- ◆ 通常は1回の接種(注射)で、5年～10年は効果が持続すると言われています。したがって、毎年接種する必要はありません。
- ◆ インフルエンザワクチンと両方接種することで、肺炎による入院患者が減ることが知られています。

## 肺炎球菌ワクチン接種の留意点

- ◆ 接種後、注射部位の腫れや痛み、軽い発熱がみられることがありますが、3日程度でおさまることがほとんどです。
- ◆ 2回目以降の接種時期は、担当医とよく相談してください。
- ◆ インフルエンザワクチンを接種する際は、接種間隔を1週間以上あけることになっていますが、担当医の判断によって同じ日に接種する場合があります。